

令和7年度第1回 久留米市学校給食運営審議会 会議録

1 開催日時

令和8年1月22日（水）19時00分～20時

2 開催場所

久留米市役所本庁舎3階 301会議室

3 出席者

（委員）

安倍会長、末次副会長、梅木委員、廣重委員、中野委員、最所委員、江島委員、北村委員

（事務局）

平田教育部長、藤原教育部次長、中村部補佐
深田学校保健課長、井手課長補佐 ほか3名

4 傍聴者 なし

5 議題

- (1) 久留米市の学校給食について
事務局からの説明。

【質疑応答】

○委員

地場産は、どこからどこまでが地場産か。

○事務局

久留米市産を地場産としている。この久留米市産の農産物の使用率を増やしていく方針。久留米市農政部が所管している食育推進プランの中で、久留米市産農産物の使用割合を金額ベースで数値目標としている。ちなみに、令和6年度で久留米市産の地場産の農産物は金額ベースで51.8%。福岡県産という形になると、おそらく20ポイント位上がる。

○会長

いろんな取り組みをされているが、朝ご飯の日はどういった取組みなのか。

○委員

久留米市の栄養教諭研究会で年間の献立計画を立てている。その中で朝ご飯を研究テーマにしたことがあり、1年間朝ごはんのできる様々な工夫を献立のめあてとしている。1月だったら、朝ご飯に井を取り入れてみようということで、どんぶりも朝ごはんになるということや、常備菜を取り入れるということなど工夫をしている。

○委員

1月の献立表を見ると、本当に連日のようにテーマ献立があるのがわかる。1ヶ月の間に平均どれぐらいの回数のテーマの献立を取り入れてあるのか。

○委員

久留米市産の食材を使った地場産の日、朝ごはんの日、かみかみ献立、それから一汁二菜の和食の日、郷土料理、世界の料理は毎月 1 回取り入れるようにしている。

○会長

学校給食の役割というのがよくわかってきた。学校給食費についてはどうか。

○委員

特別支援学校の中学部と高等部に関して、中学部と高等部でも金額が一緒だが、分量としても一緒ということか。

○事務局

給食費の額は一緒で、量も一緒である。

○会長

今年度の給食費から小学校が 500 円、中学校が 600 円上がっているが、このグラフを見ると、食材費がかなり上がっていて、特に主食が上がっている。給食の内容に影響が出ていないのか。

○委員

中学校では、前年度よりはもちろんいいが、物価の高騰の方が大きいところがあって、やはりタンパク質など、栄養価を十分に満たすところまで上げるのは厳しい状況。先ほど説明があったように、工夫を凝らしながら何とかやっている。

○会長

中学校では主食月 315 円、牛乳月 51.59 円、合わせると 350～360 円前年度より価格が上昇しており、残りの金額でおかずの部分を考えてもらっているということか。小学校はどうか。

○委員

同じように、給食費を値上げしてもらったが、そもそも物価が上がっていて、とても余裕があるということではない。この後、気候の変動などで野菜が値上がりすることなどを考えても余裕があるわけではない。

○委員

学校給食費の抜本的な負担軽減について、給食を食べない児童がいた場合、給食費相当額の給付はあるのか。それとも、あくまでもこれは給食に対する援助という考え方になるのか。

○事務局

今回の抜本的な負担軽減事業の考え方としては、その給食を提供している自治体に対する支援という形になる。

実際に給食を食べる食べないにかかわらず、児童の数に応じて基本的に 1 人あたり 5200 円が入ってくる形になる。その中で、アレルギー等で全く給食を食べることができずに弁当を持ってきている児童に対して給付を行うかどうかは自治体の判断となっている。国からは詳細な制度内容は示されておらず、細かい検討に入っていない状況。

○会長

事務局から、国県の交付金の基準額が 5200 円と説明があった。現在の小学校の給食費が 5100 円ということで、差額が 100 円となる。これについてはいかがか。

○委員

久留米市の給食費を 5,100 円に据え置いた場合はどのようなになるか。

○事務局

5100 円かける人数分しか国から交付されない。

○委員

献立を立てる側としては、少しでも子どもたちに還元することができるので、私は 5200 円がよい。中学校に関しては、現在の 1 食単価 350 円を上げられないか。

○事務局

値上げをするということであれば、去年の運営審議会のように、いくら値上げすれば、栄養基準をどのくらい満たせるのか等を審議していただいてからになる考える。

○会長

今説明があったが、中学校については、来年度の運営審議会で審議をするという形で、栄養価の検討等が必要と考える。

○委員

国からの交付金は基本的に永続的なものなのか。支援額を上げた後に 2 年後とかにやっぱりなくなりましたとなったら、保護者の負担が急に増えることになるので、熟考した方がよいのではないか。別の視点でもう 1 件、小学校に今まで久留米市が支援していた額を中学校に移すことは可能か。

○事務局

国の 5200 円という基準は、毎年調査をして見直していくことになっているので、この額自体上がっていくものと考えている。次に、今まで小学校に支援していた金額を中学校に回せないかということについては、現在、国の臨時交付金を活用して、この支援をしている。この臨時交付金を市が何に使うかは、給食だけではなく市全体の予算の中で検討するものとなっている。

○会長

それでは、小学校の給食費を 5200 円にすることによろしいか。

(異議なし)